小・中学校の児童生徒数及び学級数の推移（Ｒ１年～Ｒ４年）

事前配布資料２

未就学児の状況 ※1					小学校の状況 ※2														中学校の状況 ※2											
小学校区名	幼児数				学校名	児童数				学級数									学校名	生徒数				学級数							
	H30年度末		R3年度末							R1年		R2年		R3年		R4年							R1年		R2年		R3年		R4年	
直近3年間での全幼児数の増減率	0～2歳	3～5歳	0～2歳	3～5歳	直近3年間での児童数の増減率	R1年	R2年	R3年	R4年	普通学級	支援学級	普通学級	支援学級	普通学級	支援学級	普通学級	支援学級	直近3年間での生徒数の増減率	R1年	R2年	R3年	R4年	普通学級	支援学級	普通学級	支援学級	普通学級	支援学級	普通学級	支援学級
波除小校区	322		252		波除小	630	636	617	578	18		18		18		18		市岡東中	246	256	281	307	7		8		8		9	
82.6%		323		281	91.7%						7		6		5		5	124.8%						3		4		4		4
南市岡小校区	157		97		南市岡小	269	288	297	303	9		10		10		11														
73.3%		187		155	112.6%						4		4		4		5													
弁天小校区	246		240		弁天小	484	460	433	419	17		16		14		15														
97.7%		228		223	86.6%						5		5		5		6													
磯路小校区	183		122		磯路小	278	288	301	310	10		10		12		12		市岡中	531	597	585	582	14		15		15		15	
90.4%		140		170	111.5%						3		3		4		4	109.6%						5		6		6		6
市岡小校区	123		111		市岡小	494	462	391	359	15		14		14		11														
92.2%		132		124	72.7%						4		5		5		5													
田中小校区	139		165		田中小	293	286	271	272	12		12		11		11		港南中	477	424	425	425	13		12		12		12	
109.3%		130		129	92.8%						4		4		4		4	89.1%						4		6		6		6
三先小校区	125		133		三先小	385	372	372	344	13		12		12		12														
94.7%		140		118	89.4%						6		5		5		5													
池島小校区	53		38		池島小	141	125	113	98	6		6		6		6		港中	215	268	272	253	7		8		8		7	
92.7%		71		77	69.5%						5		6		7		7	117.7%						6		6		7		7
八幡屋小校区	72		82		八幡屋小	194	181	178	173	6		6		6		6														
98.7%		87		75	89.2%						4		4		4		4													
港晴小校区	98		78		港晴小	195	177	174	163	6		6		6		6		築港中	116	90	76	58	4		3		3		3	
97.8%		80		96	83.6%						2		2		2		2	50.0%						1		1		1		1
築港小校区	119		120		築港小	150	141	129	119	6		6		6		6														
107.1%		78		91	79.3%						3		4		4		4													
区合計	1,637		1,438		区合計	3,513	3,416	3,276	3,138	118		116		115		114		区合計	1,585	1,635	1,639	1,625	45		46		46		46	
92.1%		1,596		1,539	89.3%						47		48		49		51	102.5%						19		23		24		24

※１　いずれも各年度末の住民基本台帳人口による。

※２　Ｒ1年～Ｒ3年は各年5月1日時点の学校現況調査に基づき、Ｒ4年は左記に準じて区役所で調査したものである。また、児童（生徒）数には支援学級在籍児童（生徒）数を含む。学級数には普通学級と支援学級を外数で表示している。

ア　令和2年4月より、大阪市学校活性化条例に基づき、小学校の学級数の適正規模（12から24まで）にするよう努めなければならないこと、また、こうした適正規模を下回る小学校については学校再編整備計画を策定しなければならないことが定められた。

イ　網掛けしている６校が適正配置の対象校。（「大阪市立小学校学校配置の適正化の推進のための指針」において、毎年5月1日現在の学校現況調査（例年8月頃発表）で11学級以下で今後も11学級以下の状況にあると見込まれる小学校を適正配置の対象としている。ただし、南市岡小は現在11学級以下ながら今後、12学級以上になる見通しのため対象から外れている一方、田中小はＲ3年度より、市岡小はＲ4年度より僅かに複数学級編成にならない学年が生じたもの。）

ウ　学校配置の適正化の方策は、基本的に「統合」により進め、その際は適正配置対象校同士の統合を優先する。また、適正配置の相手校は、同一中学校区にあり、校区が隣接している学校とする。
ただし、港区で具体に適正化を進めるには、将来の児童生徒数の推計を踏まえ、「学校配置の適正化」だけでなく「学校選択制」の課題整理を含め、上記の基本的な進め方以外にも様々な検討を進めていく。